

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 令和5年 12月 1日

事業所名: 共生型デイサービス ケアLabo サービス種類: (例: 児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	共生型の為、共有スペースがあるが、学習支援等に合わせたスペースは確保できるよう工夫をしている。	「確保されている」 90% 「わからない」 10%	共生型の特徴を生かしながら、十分なスペースの確保ができるよう工夫している。
	2 職員の適切な配置	児童の人数は昨年度と変わらず。職員は1:1または2:1で対応している。	「配置されている」 57% 「どちらともいえない」 14% 「わからない」 29%	職員配置については契約時に説明を行っている。引き続き丁寧に説明させていただく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	来所時の手順、スケジュール、活動プログラム等は視覚的に掲示を行い、環境整備を行っている。また、掲示物は最小限にし、集中しやすい環境作りを行っている。	「配慮されている」 90% 「わからない」 10%	引き続き、利用児童の状態に合わせた環境設備を行い、清潔で安全に過ごすことができるようにする。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃、消毒を行い、清潔で安全な環境づくりに努めている。感染対策を含め、利用児童が安心して過ごすことができるように衛生管理にも万全の注意を払っている。	「確保できている」 90% 「わからない」 10%	また、視覚支援により、特性に応じた環境設備を行う。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	事業所の業務目標を設定し、毎月の検討課題や取り組みの進捗状況の確認を行っている。		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在実施していない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	施設内研修を実施している。外部研修については可能な限り調整しながら機会を確保し、参加を行っている。		
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	見学時や契約時に保護者からニーズや課題の聞き取りを行い、児童の利用時に状況把握と分析を行った上で目標や支援計画の作成を行っている。	「はい」 100% 散歩や公園などでの、運動レクリエーション、 長期休暇時などはクッキングも行っている。	保護者からの情報収集やアセスメントを十分に行い、課題やニーズを分析した上で計画を作成する。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	学習支援は児童の特性に合わせながら、1:1または2:1で対応している。また、興味のある児童にはクッキング等の集団活動を通して一人ひとりに合った支援を心がけている。		個別と集団での活動の中で、一人ひとりの特性を把握した上で対応し、支援計画に反映させるように努める。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	支援内容については、保護者にもわかりやすいように、具体的にお示ししたり、数値化して記載している。	「はい」 90% 「どちらともいえない」 10%	今後も児童の成長に合わせた支援に必要な項目を設定し、具体的に記載できるよう努める。その時期に合った行事についても具体的に記載する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	支援計画に合わせた支援を行っている。	「はい」90% 「わからない」10%	引き続き、児童の思いや保護者の意向を踏まえて個別計画を作成していく。また、職員間で情報共有していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	定期的に職員間での意見交換する場を設け、プログラムの反省点や改善点を活かし、職員間で情報共有していく。		引き続き、職員間で情報を共有しながら、ニーズに沿ったプログラムの検討に努める。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	家族の状況を考慮し、可能な限り要望に応えられるよう、支援を実施している。	「工夫されている」90% 「わからない」10%	細やかな支援ができるように継続して努める。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	定期的に職員間で意見交換する場を設けている。職員間でアイデアを出し合いプログラムを作成したり、行事計画を行い固定化しないよう工夫している。		活動プログラムの振り返りを行い、反省点や改善点の中から固定化しないよう工夫していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	受け入れ前にミーティングを行い、プログラムやスケジュール、個別の児童対応など役割分担を決め、活動内容の確認を行っている。		共生型であり、高齢者支援の中で児童との関りもある為、支援開始前はその日のプログラム、役割分担等の内容確認は欠かさず行っている。今後も職員間の丁寧な連携を図っていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	利用終了後にもミーティングを行い、その日の反省点や支援方法を確認し、次回の支援に繋げることができるよう、情報共有を行っている。		今後も職員間での情報の共有を行っていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	利用時の様子や支援内容、気づいた点などをケース記録として残している。		利用時に記録を徹底し、振り返りができるように定期的に話し合いの場を設けている。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	6カ月に一度のモニタリング、職員会議にて計画の見直しを行っている。		定期的なモニタリングに加え、送迎時の保護者からの情報等により、変化があれば課題の検討に活かしている。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所からの問い合わせやサービス担当者会議に参加している。		引き続き要請があれば参加する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	相談支援事業所を通じて、小学校での様子やケアLaboでの支援内容や支援方法の情報共有を行っている。		
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	町のこども連絡会に参加し連携を図っている。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	現在実施していない。		
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在実施していない。		
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現在実施していない。		
	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学時にパンフレットにて支援内容、利用方法等の説明を行い、契約時には重要事項説明書を通して支援内容や利用負担等の説明を行っている。	「はい」100%	今後も保護者にしっかりと伝わるよう、丁寧に説明を行い、内容についてはより丁寧に説明していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	6カ月に一度のモニタリングを行い、計画書をもとに支援内容や支援方法を説明している。	「はい」90%、「どちらともいえない」10%	今後も保護者にしっかりと伝わるよう、丁寧に説明を行い、内容についてはより丁寧に説明していく。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	現在実施していない。	「はい」43%、「どちらともいえない」43% 「いいえ」14%	児童の様子を観察し、気づいたことを連絡帳でしっかりと伝えとる共に、送迎時に保護者から学校や家庭での様子を伺い、日頃から情報の共有ができるようにコミュニケーションをとっていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時にその日の様子をお伝えしている。また連絡帳や電話、メールやLINE、モニタリングの際に伝えている。	「はい」90%、「どちらともいえない」10%	
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	6カ月に一度モニタリングを行い、電話やメール、LINEでの相談等、申し出がある場合は随時受け付けている。	「はい」57%、「どちらともいえない」43%	相談時は丁寧な対応を行い、悩みに対しては、出来る限り解決に至るような助言ができるように職員の専門性を高めていくと共に保護者と一緒に考え、寄り添った支援ができるように努めていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現在実施できていない。メールやLINEを通し、保護者との連携を図っている。	「わからない」43%、「いいえ」57%	保護者同士の交流の場を提供できるように努めていく。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する窓口を設置している。また、契約時に苦情対応の説明を行っている。玄関にも連絡先等を掲示して周知している。	「はい」71%、「わからない」29%	相談、苦情に対する体制については、日頃から丁寧な説明を行うと共に、苦情に対してはその都度対応し、職員会議を行い、迅速に対応できるように努めている。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	プログラムについては前回利用時に、次の要望を児童からスタッフに伝えており、内容の確認を行いながら一緒に活動している。また、保護者とは連絡帳、LINE等で情報交換を行っている。	「はい」72%、「どちらともいえない」14%、 「わからない」14%	引き続き安心して利用していただけるよう、送迎時やモニタリング、連絡帳やLINEでの意思の疎通や、情報伝達に努める。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	会報の発行は行っていないが、ホームページにて事業所の活動や行事等を発信している。	「はい」29%、「どちらともいえない」14%、 「いいえ」14%、「わからない」43%	今後もホームページの更新を行い、保護者に積極的に閲覧を勧める。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報についての説明を行い、写真等個人情報の利用の確認を行っている。個人情報の取り扱いの同意書にサインをいただき、記録等についてはインシタルを使用、終了時にはシュレッダーにて破棄している。	「はい」71%、「わからない」29%	個人情報の取り扱いについては職員全員が注意を払うとともに、引き続き十分に配慮していく。
	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	緊急時の対応等については、契約時に保護者に説明を行い、周知している。マニュアルに関しては、職員は研修を通し、周知徹底している。	「はい」43%、「いいえ」14% 「わからない」29% 「どちらともいえない」14%	マニュアルについては、職員間でも周知徹底し、保護者には契約時やモニタリングの際に再度周知するよう努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に数回、火災・地震の避難訓練及び通報訓練を行っている。	「はい」10% 「わからない」90%	避難時にヘルメットや防災頭巾の使用の体験も引き続き検討していく。訓練については高齢者も一緒に行うため、保護者には事前に連絡帳や書面、LINEにて連絡し、ホームページでも訓練の様子を掲載していく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止に関する職員研修を実施している。		職員間でも常に意識の向上に努める。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束は行っていない。		身体拘束は行わない。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時やモニタリング時に保護者から食物アレルギーの確認を行っている。		医師の指示書に従う。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	利用前のミーティング、支援会議等で申し送りを行い、事業所内で情報を共有し、事故防止に努めている。		今後も引き続きヒヤリハットを職員間で共有し、対策、検討に努める。